

外贸业务日语:口マ字のつづり方 PDF转换可能丢失图片或格式, 建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/272/2021_2022__E5_A4_96_E8_B4_B8_E4_B8_9A_E5_c29_272976.htm 字み字み字み明日
あす 小豆 あずき 海女 あま硫黄 いおう 意地 いくじ 田い
な 息吹 いぶき 海原 うなばら 乳母 うば浮 うわき 笑 えがお
お父さん おとうさん お母さん おかあさん 叔父。伯父 おじ
大人 おとな 乙女 おとめ 叔母。伯母 おば お神酒 おみき 母屋
。母家 おもや 神 かぐら 河岸 かし邪 かせ 名 かな 蚊 かや替
かわせ 川原。河原 かわら 昨日 きのう 今日 きょう 果物 くだ
もの 景色 けしき 玄人 くるうと 今朝 けさ 心地 こち今年
ことし 早乙女 さおとめ ざこ敷 さじき 五月 晴れ さつき ばれ
早苗 さなえ 五月雨 さみだれ 雨 しぐれ 竹刀 しない 芝生 しば
ふ 清水 しみず 三味 しゃみせん 砂利 じゃり 数珠 じゆず 上
手 じょうず 白しら が 素人 しろうと 走 しわす 数寄屋 すきや
相 すもう 草履 ぞうり 山 だし 太刀 たち 七夕 たなばた 足袋
たび 稚 ちご 一日 ついたち 山 つきやま 梅雨 つゆ 凸凹 でこ
ぼこ 手 うて つだう 船 てんま せん 投 とあみ 十重 二十重 とえ
はたえ ときょう とけい 友 とも だち 仲人 なこうど 名残 な
ごり 雪崩 なたれ 兄さん にいさん さん ねえさん 野良 のら 祝
のりと 博士 はかせ 二十.二十 はたち 二十日 はつか 波止 は
とば 一人 ひとり 日和 ひより 二人 ふたり 二日 ふつか 吹雪
ふぶき 真っ赤 まっか 下手 へた 部屋 へや 迷子 まいご 真っ青
まっさお 土 みやげ 息子 むすこ 眼 めがね 猛者 もさ もみじ
木 もめん 最寄り もより 八百 やおちょう 八百屋 やおや 大和
やまと 浴衣 ゆかた 行方 ゆくえ 寄席 よせ 若人 わこうど 前き

一この「送り名の付け方」は、法令。公用文。新。放送など、一般の社会生活において、「常用字表」の音によって代の国をき表す合の送り名の付け方のよりどころを示すものである。二この「送り名の付け方」は、科学。技。芸その他の各分野や々人の表にまで及ぼそうとするものではない。三この「送り名の付け方」は、字を号的に用いたり、表に入したりする合や、固有名をき表す合を象としていない。「本文」の方及び使い方一この「送り名の付け方」の本文の成は、次のとおりである。独の 1 活用のある通 1（活用尾を送るにするもの）通 2（派生？のを考して、活用尾の前の部分から送るにするもの）2 活用のない通 3（名であって、送り名を付けないにするもの）通 4（活用のあるからじた名であって、もとの送り名の付け方によって送るにするもの）通 5（副。体。接にするもの）合の通 6（独の送り名の付け方によるにするもの）通 7（用によって送り名を付けないにするもの）付表の 1（送り名を付けるにするもの）2（送り名を付けないにするもの）二通とは、独の及び合の、活用のある及び活用のないの等にして考えた送り名の付け方にする基本的な法をいい、必要にじ、例外的な事又は容的な事を加えてある。したがって、各通には、本のほか、必要にして例外及び容をけた。ただし、通 7 は、通 6 の例外に当たるものであるが、当するが多数に上るので、の通として立てたものである。三この「送り名の付け方」で用いた用の意は、次のとおりである。独の。字の音又はを独に用いて、字一字でき表すをいう。付表の。「常用字表」の付表にげてあるのうち、送り名の

付け方がとなるをいう。活用のある……形容.形容をいう。活用のない……名.副.体.接をいう。本……送り名の付け方の基本的な法と考えられるものをいう。例外……本には合わないが、用として行われているとめられるものであって、本によらず、これによるものをいう。容……本による形とともに、用として行われているとめられるものであって、本以外に、これによってよいものをいう。四独の及び合のを通じて、字音を含むは、その字音の部分には送り名を要しないのであるから、必要のない限り触れていない。五各通において、送り名の付け方が容によることのできるについては、本又は容のいずれにいてもよいが、々のに用するに当たって、容によってよいかどうか判断しい合には、本によるものとする。本文独の 1 活用のある通 1 本活用のある（通 2 を用するを除く。）は、活用悟尾を送る。〔例〕る 承る くる 催す 生きる れる 考える 助ける 荒い いい 主だ 例外（1）が「し」でわる形容は、「し」から送る。〔例〕著しい 惜しい 悔しい 恋しい 珍しい（2）活用尾の前に「か」、「やか」、「らか」を含む形容は、その音から送る。〔例〕暖かだ かだ 静かだ やかだ 健やかだ 和やかだ 明らかだ 平らかだ 滑らかだ 柔らかだ（3）次のは、次に示すように送る。明らむ 味わう 哀れむ 慈しむ 教わる かす（おどかす） かす（おびやかす） 食らう なる 逆らう 捕まる 群がる 和らぐ する 明るい 危ない 危うい 大きい 少ない 小さい 冷たい 平たい 新ただ 同じだ 盛んだ 平らだ るだ 惨めだ 哀れだ 幸いだ 幸せだ 巧みだ 容次のは、（ ）の中に示すように、活用尾の前の音から送ることができる

。表す（表わす）著す（著わす）れる（われる）行う（行なう）断る（断わる）る（わる）（注意）と活用尾との区がつかないは，例えば，「着る」，「寝る」，「来る」などのように送る。通2本活用尾以外の部分に他のを含むは，含まれているの送り名の付け方によって送る。（含まれているを〔 〕の中に示す。）〔例〕（1）の活用形又はそれにずるものを含むもの。かす〔く〕照らす〔照る〕らう〔る〕らう〔る〕向かう〔向く〕浮かぶ〔浮く〕生まれる〔生む〕押さえる〔押す〕捕らえる〔捕る〕勇ましい〔勇む〕かしい〔く〕喜ばしい〔喜ぶ〕晴れやかだ〔晴れる〕及ぼす〔及ぶ〕もる〔む〕こえる〔く〕もしい〔む〕起こる〔起きる〕落とす〔落ちる〕暮らす〔暮れる〕冷やす〔冷える〕当たる〔当てる〕わる〔える〕わる〔える〕集まる〔集める〕定まる〔定める〕なる〔ねる〕交わる〔交える〕混ざる。混じる〔混ぜる〕恐ろしい〔恐れる〕（2）形容？形容のを含むもの。重んずる〔重い〕若やぐ〔若い〕怪しむ〔怪しい〕悲しむ〔悲しい〕苦しがる〔苦しい〕かめる〔かだ〕重たい〔重い〕憎らしい〔憎い〕古めかしい〔古い〕かい〔かだ〕柔らかい〔柔らかだ〕清らかだ〔清い〕高らかだ〔高い〕寂しげだ〔寂しい〕（3）名を含むもの。汗ばむ〔汗〕先んずる〔先〕春めく〔春〕男らしい〔男〕後ろめたい〔後ろ〕容みえるおそれのない合は，活用尾以外の部分について，次の（ ）の中に示すように，送り名を省くことができる。〔例〕浮かぶ（浮ぶ）生まれる（生れる）押さえる（押える）捕らえる（捕える）晴れやかだ（晴やかだ）もる（る）こえる（える）

）起こる（起る）落とす（落す）暮らす（暮す）当たる（当る）わる（る）わる（る）（注意）次のは，それぞれ〔 〕の中に示すを含むものとは考えず，通1によるものとする。明るい〔明ける〕荒い〔荒れる〕悔しい〔悔いる〕恋しい〔恋う〕2 活用のない通3 本名（通4を用するを除く。）は，送り名を付けない。〔例〕月 花山男女彼何例外（1）次のは，最後の音を送る。り哀れいら後ろ傍ら幸い幸せ互い便り半ば情け斜め独り誉れ自らい（2）数をかぞえる「つ」を含む名は，その「つ」を送る。〔例〕一つ二つ三つつ通4 本活用のあるからじた名及び活用のあるに「さ」，「み」，「げ」などの接尾が付いて名になったものは，もとのの送り名の付け方によって送る。〔例〕（1）活用のあるからじたもの。き仰せ恐れりりべ届けい晴れ当たり代わり向かい狩り答えい祭り群れ憩い愁い香りみ初め近くく（2）「さ」，「み」，「げ」などの接尾が付いたもの。暑さ大きさ正しさかさ明るみ重み憎しみ惜しげ例外次のは，送り名を付けない。虞趣印卸恋志次富光舞折（かかり）肥（なみ）割（注意）ここにげた「」は，「花の」，「赤の」などのように使った合の「くみ」であり，例えば，「活字のみがゆるむ。」などとして使う合の「くみ」を意味するものではない。「光」，「折」，「」なども，同にの意が残っているような使い方の合は，この例外に当しない。したがって，本を用して送り名を付ける。容みえるおそれのない合は，次の（ ）の中に示すように，送り名を省くことができる。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详

细请访问 www.100test.com